

1 事業概要

事務事業名		土地利用計画推進事業		課名	地域計画課	事業No.	251
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する			
	分野別計画			国土利用計画、土地利用基本方針、景観計画、緑の基本計画			
法令・例規等			国土利用計画法、都市計画法、景観法、都市緑地法、屋外広告物法				
			土地利用基本条例、土地利用調整条例、都市計画法施行条例、景観条例、緑の育成条例等				
事業目的	対象	飯田市全域					
	意図	計画に基づく土地利用が行われる					

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)
	関係するまちづくり委員会と協力し、リニア駅周辺の土地利用、景観に関する検討を行いました。また、これらの検討に基づき、土地利用基本方針（地域土地利用方針を含む。）の変更を行いました。都市計画の決定・変更の状況に応じ、関係する条例・規則の整備を行いました。	土地利用計画審議会報酬					
計画検討に係る講師謝礼						66	
旅費（委員、講師、研修等）						310	
消耗品その他						512	
その他の経費						0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度
	土地利用関係計画の策定・変更	回	2	2	3		
	土地利用計画に係る例規の制定・改正	回	1	6	8		
30年度決算(千円)	予算額	1,264	特定財源内訳及び補足事項				
	決算額	925					
	財源の状況	国庫支出金	0				
		県支出金	0				
		地方債	0				
		その他	0				
一般財源	925						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	4	1	10	5	1,170	864	土地利用基本方針策定事業費
2	1	8	4	1	10	6	94	61	景観形成推進事業費
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> 道路、用途地域、特別用途地区、地区計画及び特定用途制限地域に係る都市計画の決定・変更といった状況の変化等に対応し、今後とも適正な土地利用と良好な景観の育成が図られるよう、適宜計画の見直しを行う必要があります。 20地区の基本構想・基本計画の策定・改定が進む中で、地域の土地利用計画や景観計画の検討・見直しが必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> リニアや三遠南信自動車道の開通を見据え、関係機関や関係する地域との協議により状況を把握するとともに、変化等に対応するため連携して取り組みます。 各地域での検討状況に応じ、勉強会の開催や検討組織の支援など積極的に関わることをとします。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> リニア関連事業等の進捗に合わせて、関係機関や地域との協議を進めます。また、地域の皆さんとの検討を踏まえ、土地利用基本方針（地域土地利用方針）や景観計画（地域景観計画）の見直しを行うとともに、土地利用や景観のあり方のルールづくりのための取組を進めます。 							